

たまりば

2023年度 春号

Communication
通信 

◆ 発行日 2023年4月 ◆ 発行 認定NPO法人 フリースペースたまりば
〒213-0022 川崎市高津区千年435-10
TEL 044-833-7562
FAX 044-833-7534

<https://www.tamariba.org>
E-mail : freespace@tamariba.org

だからフェスティバルって面白い



去る3月4日、堂々22の演目が出揃ったフェスティバルが今年も開催されました。参加者350人、上演時間2時間半。心に響く歌声や迫力の演奏、ノリノリのダンスに大道芸や映像上映...秋から準備したオリジナル劇は、「長引く戦争を終わらせるために自分たちは何をするのか」を問いかけるという難しいテーマをユーモアたっぷりにコミカルに演じました。また、ブリュッケからは骨太のバンドが初参加、会場を多に盛り上げました。

フェスティバルはたくさんの人の力で作り上げるものですが、その真ん中で踏ん張っているのがプロジェクトX（実行委員会）です。毎年顔ぶれの変わるプロジェクトは、何年も参加しているベテランからフェスティバルをよく知らない初心者までやりたい人が集まり、先代たちが残してきた記録をひも解き、継続参加メンバーの経験と知恵を共有しながら



「今年の」フェスティバルを作り上げていきます。

現役中心メンバーを脇からしっかり支える人たちもたくさんいます。

小学生でえんに来て、その年のフェスティバルの演目に複数出演、翌年はオリジナル劇の主役を張った若者ももうすぐ二十歳。ピンマイクの装着までこなす、頼れる舞台裏マスターになりました。



事前にふらりと現れて「派遣で一す笑」と滞った作業を手伝いながら全ての段取りと人の動きを把握し、当日は会場中を走り回りながら細やかな心配りでイベントをまとめた若者。毎年必ず一日休みをとって、朝から舞台袖にスタンバイしている若者、楽屋で何くれとなく動き回る若者。そしてそんなお兄さんお姉さんの背中を、いずれは自分も...と熱く見つめる子たちもいます。

フェスティバルでは演目の一つ一つから裏方の関わり方まで、たまりばのみんなの豊かな個性が至る所で光っています。一人ひとりのやりたいことや得意分野は本当に様々。それぞれの違いが、うまーく調和して相乗効果を生み、自分たちで思いもしなかった素晴らしいものができあがる。なんだかんだありつつも結局はなんだかステキなことになっちゃって、みんながあんなにキラキラ輝くのは、いろーんな人がいるからなんですね。

見に来てくださった方も応援していただいた方も、たくさんの方の力で大盛況に終わったフェスティバル。数日後のプロジェクト反省会では、今後に向けての言葉が目白押しでした。どうすればさらに良くなるか、次世代が育つには何が必要か、来年はこんな風にしてみたい...

みんなが眩しくて、次のフェスティバルが待ちきれません。

認定NPO法人
フリースペース
たまりば
って...?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体（フリースペースえんを含む）の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

どこに行ってもえんなのだ～！



1月末に2泊3日でスキー合宿に行ってきました！前は暖冬の影響で雪が少なく、滑れるコースも限られていましたが、今年はいい感じに積雪していて、普段の生活ではなかなか

見る事のない銀世界に、子どもたちは大はしゃぎ！

スキーもスノボも初心者の子が多い中、最初は何もかもが初めてで、自分の思うように体が動かず、途中でかんしゃくを起したり、「もうやらないっ！」と投げ出したりした子もいました。雪もかなり降り、ものすごく吹雪いていた時間もあったので、こりゃ心も折れるよなあ…と。

それでも、わざわざ駆けつけてくれた力強いOBの若者たちやスタッフが丁寧に教えながら一緒にゲレンデに出て、たくさんすっ転びながらも雪やスキーに段々と慣れてくると、そこからぐんぐんと滑れるようになっていきました。

その日の夜には、「明日、俺の滑り見てくれ！」「明日滑るところ動画撮って！」と、意気込んでいました。

そして迎えた最終日は晴天、とても気持ちよく滑れる1日となりました。前日、めげそうになっていた子たちも、この日はガンガン滑って、どんどん上達していきました。

転ぶ回数も減って、動画を撮りながら滑るスタッフに、「イエーイ！」と手を振る余裕も。スキーやスノボをやらない子たちは、延々とそりを楽しんでいたり、積もった雪にスッポリ埋もれていたり、雪をムシャムシャ食べていたり…えんってどこに行ってもえんだなあ～！



ケガをした人も、体調不良になる人もおらず、なんなら帰りの大型バスの中でもまだまだ元気いっぱい。あっという間にみんなを乗せたバスは無事に津田山に到着です。

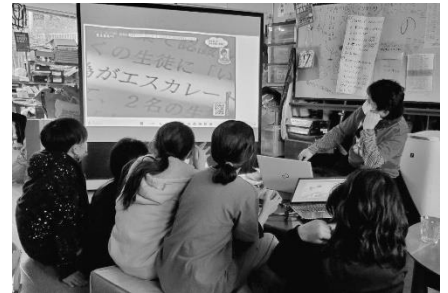
バスから荷物を下ろし、最後に一本締めをして解散！みんなの成長を感じる濃密な時間となりました。(いけちゃん)

たいせつな一日、ピンクシャツデー

2月22日は、世界各地でいじめSTOPを掲げる「ピンクシャツデー」。ピンクのモノを身につけて、いじめ反対の意思を示す日です。フリースペースえんでも、毎年子どもたちと一緒にいじめについて考えます。今年も、13年前に川崎市内で起きた篠原真矢さんのいじめ自死事件の調査検証報告書を担当した、元指導主事・渡邊信二さんにお話をうかがいました。渡邊さんは「いじめは、他者のいのちを脅かし、自らのいのちの欲望を満たす行為。」とハッキリと述べました。いじめがあったら、あなたならどうする？渡邊さんからの問いかけに、ピンクを身につけた

子どもたちの後ろ姿からも、真剣に考えているのが分かりました。

(もぐ)



みんなの

まち、みんなで考える

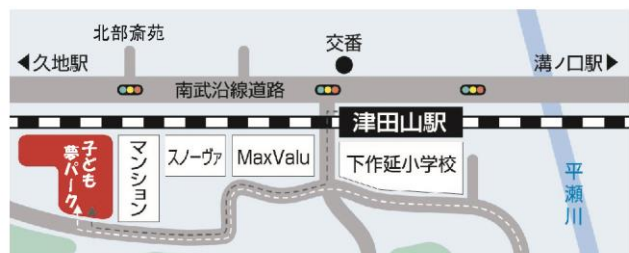
えんくるでは、今年度WAM(福祉医療機構)の助成金をうけて運営してきた食支援と相談事業の報告会を2月4日に行いました！せっかく皆さんが集まるから、報告に続いて、多様な人が交流しながらまちのことを考え、みんなが生きやすくなるよう考える「まちづくりワークショップ」も開催。ワールドカフェ形式で、「私の、私のまちの困った」「こんなのあるよ、私もこんなことできる」そんなことを持ち寄る対話の場で、とても盛り上がりました。このワークショップのために、イベントはかわさき生活クラブ生協様、かわさきこども食堂ネットワーク様、NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会様からの協力も頂きました。普段からえんくるに足を運んでくれている皆さんから、今回初めてえんくるを知った方まで、みんなが集い、つながる熱気のある会になりました。(あき)



指定管理施設

『やってみよう』がいっぱいある場所です 川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



ブリュッケだより



～ブリュッケバンド、たまりばフェスティバルに初参戦！～

3月4日のたまりばフェスティバルは、記念すべきブリュッケ初参加となりました。展示コーナー、バンド出演、応援団と総勢13名の若者がすくらむ21に集結！

ブリュッケバンドは、なんとこの日が初ステージでしたが、リハーサルも本番も予想以上に盛り上がり、初めてとは思えないパフォーマンスを披露しました。みんなの秘めた度胸と夢パのスタジオでコツコツ積み重ねた練習の成果がステージで一気に爆発したかのような熱量でした。バンドメンバーは10代、20代、30代の4名。居場所でも出会った年齢もタイプもバラバラの若者たちがいつの間にか繋がって、夢を実現させる仲間となっていたことに奇跡を感じました。そんなステージを客席から応援していた若者からは「来年は裏方をやってみたい」との声も。また次のたまりばフェスティバルに向けて、新たな出会いと奇跡がたくさん芽生えていくことを期待しています。(三瓶)



HAPPY SPRING FESTIVAL

★初春の慶びをわかちあう新春イベント。今年は、新型コロナウイルスが流行してからやっていなかった餅つきが復活！町会の方々の力を借りてついた、できたてのお餅の美味しさにびっくり！販売用のお餅はあっという間に売り切れに。ほっぺたが落ちそうな笑顔にあふれる新春イベントでした。あたたかく豊かな一年になりますように。(はるひ)

★春だ春だパーティー「樂立ちの会」を開きました。東高根森林公園に出かけてお弁当を食べて、おにごっこしたり、木登りしたり・いっばい遊んだ後は、みんなに伝えたい新しい生活への思いを発表し合いました。懐かしいメンバーも集まり、最後は県教育委員会の派遣で1年間一緒に過ごしたヒデキとYMCAを踊って盛り上げました。(たかこ)

★新しい年がきたらやっぱりお雑煮。1月中には食べたくて毎年作ります。田舎(島根)から送ってもらうもち米100%の丸餅は、味と伸びが違います。昆布出汁に鶏肉でもう一味加え、小松菜と紅白かまぼこ、三つ葉と柚子の皮で仕上げます。みんなたくさん召し上がれ。(三好)

西野のつぶやき



まもなく夢パークができて満20年を迎えます。工場跡地で空き地だったこの土地を、たまりばの子たちと一緒に歩きました。ここにどんな居場所をつくらうか。どんなあそび場が欲しいか。子どもたちの声を聴き、たくさんの夢をのせてオープンした夢パーク。10000㎡に常設のプレーパークをつくる。日本初の公設民営のフリースペースをつくる。私たちが描いた夢は現実のものとなり、映画もでき、NHKのドキュメント番組で視聴者が選ぶ年間ベスト1に取り上げられるほど、その存在を知られるようになりました。ここから発信した「居場所」の在り方は、全国から注目されるようになり、どこにも居場所を見つけられなかった子たちが、次々と訪ねてくるようになりました。この子たちのために何ができるか。当たり前には万能ではない私たちは、悩み、考え、今日まで試行錯誤の連続でした。この20年がすべて順調にきたわけではなく、数々の失敗も重ねてきました。子どもたちを傷つけてしまったこともありました。さらに3年も続いたコロナの影響はいろんなところに出てきて、体調を壊して休んだり、退職するスタッフも続くようになりました。所長を降りて2年が過ぎましたが、アドバイザーとして改めて働き方や運営のやり方を見直す必要を感じています。夢パークは条例設置なので、簡単に開設日や時間の変更はできませんが、月1回の施設点検日の他に、せめてもう一日閉所日が欲しい。スタッフがみんな顔をそろえて話し合う時間が欲しい。いろんな研修を共に受けられる時間が欲しい。それが私たちの切実な願いです。居場所に求められる「安全・安心」。これをきちんと保障するためにも、さらなるスタッフのスキルアップが求められます。スタッフ自身の心身の安定のためには、休息も必要です。今までたくさんの市民の皆さんのボランティアに支えられてきました。持続可能な居場所をこれからもつくりつづけるために、所管課とも対話を重ね、利用者の皆さんの声もうかがいながら、20周年の節目の年に、改革に乗り出したいと考えています。皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。(西野博之)



川崎若者就労自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら・・・。

*ブリュッケでは、川崎市にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～29歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★詳しくは事務局まで★

※新型コロナウイルス対策による、イベント・企画の実施等の変更については、開催日が近づきましたらホームページでご確認をお願いします※

たまりばホームページ <http://www.tamariba.org>

Facebook

<https://www.facebook.com/tamaribaNPO/>

たまりば 活動報告会

7月2日(日) 14:00~(予定)

★2022年度の活動報告をフリースペースえんで行ないます。

去年はどんな一年間だったかな?一緒に振り返ろう。

フリースペースって、どんなところ?

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第1回 4月15日(土) ※受付終了※

第2回 6月17日(土) 10:00~12:30

第3回 8月12日(土) 10:00~12:30

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方

会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」

参加費 500円 <要予約・先着20人まで>

申込み 第2回 5月1日(月)、第3回 7月3日(月)

ともに12:30から受付開始

※4回目以降についてはホームページでご確認ください。

ご支援いただきありがとうございます (2022.12.11~2023.3.2)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。)

江藤省三、海老澤和子、中村公一・勇、齋藤こえ子、宮崎芳正、波瀬浩子、三田恭一、長山亮子、高部健司、野口千美、梅田浩二、小池敬治、桑原俊三、佐藤研二、山崎祐子、池田博毅、ベップヒデキ、磯上しのぶ、横山晋平、吉永真理、山本哲也・将也、内田成信、長谷川靖子、櫻井庸平、倉方真紀子、佐々木直人、関伊都子、朱田貴美、吉村友紀子、山下晴子、藤本オサム、植村啓子、佐藤ニコラス、ノダヒロコ、杉山卓也、タダヒロシ、新田学、宇井新・のどか、田辺正透、後藤史子、山下泰司、堀池雄司、橋本俊、岡部洋、清水利孝、杉淵美有子、畑洋樹、山田恵理子、葛西英、白石つや子、石橋充行、長瀬文香、矢崎達則、平野知恵、遠山宗子、竹内昭・太郎、清水善幸、畑本和彦、野口由美子、マリック慎子、金子大也・麻子、鈴木みしお、小山武史、渡邊敬・未希、橋本誠一・碧、飯沼光津子、木崎志保、浅井輝也、奥田礼子、コンペイトウ、田老幸子・香奈、安西卷子、新井野誠、赤野一将・香織、小原輝子、森口幸信、森田泰恵、服部起代子、野田岳志、山口正芳、イロオイアヤカ、安田靖子、今村久美、新居千文、新井琴乃、辻智佐子、遠藤亜紀子、宮岡えり、水嶋陽、金子大也、片井啓貴、林康太郎、菅原理 Heo,Joon、鈴木明子、加藤裕子、岡本恵子、細田和恵、町田恵美、社会福祉法人 照治福祉会、市民ネット映画サークル 今岡、認定こども園捜真幼稚園 PTA、柿生地区社会福祉協議会 青少年福祉委員会

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

振込先→郵便振替口座 00200-2-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください)※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562



コミュニティスペースえんくる

えんくるは、フードパントリーを併設した「まちの広場」です。

子どもはもちろん、誰もが立ち寄れる居場所を目指しています。

〒214-0021 川崎市多摩区宿河原 6-26-24 フジビル1階 TEL: 044-813-5248

公式 LINE

